

将来 企業を担う人材を育成する

2021年

Peach **kokorozasi** school



ピーチコーポレーション株式会社

Peach kokorozasi schoolについて

新型コロナウイルスが世界に蔓延し経済を停滞させ、今まで鈍い動きであったものが、ここに来て一気に動き出し、DXが加速していくかのように思えた一時期でしたが、感染の波が繰り返される中、人々の働き方や意識も大きく変化し、価値観も変わり、この先への迷いなどの声も多く聞かれるようになっていきます。

このような中、これから守り続けるものと捨てるもの、ブラッシュアップするものと創り出すものなどを選別し、創意工夫して行く必要があります。

2017年度から開催し、今年で5年目を迎えるPeach kokorozasi schoolでは、今まで考えたこともなかった事柄について再思考し今後、自分が何をすべきかを探ることとしました。

企業の財産は「人」と言われ続けてきましたが、新しい生活様式を取り入れた働き方では、更に心も身体も健康で、強い精神を持ち優しい心も持つ人材が必要となってきました。

そこに、創造性・柔軟性に長けた人材を育てることができる企業こそが生き残って行くと考えます。そのためには、どのような場面であっても、何をしても常に意識し思考し続けることが重要であり、そのためには「きっかけ」が必要です。

Peach kokorozasi schoolでは、第一線で活躍する経験豊富な講師陣を迎え、異業種の仲間と意見交換し、議論を重ね、気づかなかったことに気づき、考えなかったことを考えることにより、イノベーションを起こせる人材を育成することを目的としています。

また、今年度から受講者同士の繋がりをより深めるために研修回数を増やし企業見学なども取り入れ、目・耳・言葉そしてマインドに対して、より高い意識と知識やエネルギーが得られように構築致しました。

今後もPeach kokorozasi schoolでは、関西、日本の発展に力を発揮する人材を育成して行きます。

Peach kokorozasi schoolで
身に付けられること

決断力
察知力
逆境力
リーダーシップ

思考力
発言力
交渉力
先見力



Peach kokorozasi
school

の魅力



- ◆ 人脈形成に繋がる
- ◆ 共に学んだ仲間と新しい事業を展開できる
- ◆ 現役第一線講師の話をお聞き、共に討論できる

研修スタイル

毎回講義前には事前課題が与えられます



講師による講演会

質疑応答

課題についての討論会

毎研修ごとに研修時に学んだ内容をレポートにまとめて頂きます

第5回 2021年度 講師と講演テーマ (全10回)

※講演テーマは現段階でのテーマです

開催時期に合わせたテーマに変更する可能性もございますことをご了承ください

開催時間：14時～17時

開催日	役職	講師名	講演内容
5月19日 (水)	スタンフォード大学 教授	西 鋭夫氏	世界と日本
6月17日 (木)	サラヤ株式会社 代表取締役社長	更家 悠介氏	検討中
7月15日 (木)	大阪観光局 理事長	溝畑 宏氏	世界における関西
9月15日 (水)	非公開 (受講生のみ公開)		
10月	大阪大学心臓血管外科 教授	澤 芳樹 氏	「医療の未来～ withコロナ/ afterコロナ」
11月17日 (水)	見学会 (日立造船) 講演：日立造船株式会社 相談役 古川実氏		
12月9日 (木)	関西文化経済研究所 代表 ／西日本電信電話株式会社 元代表取締役社長	大竹 伸一 氏	意思を持つ情報
1月	パナソニック株式会社 専務執行役員	宮部 義幸 氏	日本のイノベーション 創出に向けた課題
2月16日 (水)	エルドリッチ研究所	ロバート・D・ エルドリッチ 氏	国際社会の中の日本 日本の中の国際社会
3月	提言発表会		

2021年4月現在

オブザーバ参加可能な **Peach Women's Business School** 研修

実施月	タイトル	講師
11月	異文化コミュニケーション・交流会 (仮)	Rosetta Stone Learning Center Edward Alexander Iftody

講師プロフィール

5月

講師：スタンフォード大学フーヴァー研究所 フェロー
西 鋭夫氏

テーマ：世界と日本



【経歴】

1941年大阪に生まれる 関西学院大学文学部卒業後、1968年にワシントン大学大学院にて修士号を取得。1968年から1971年まで、ジェイ・ウォルター・トンプソン・ジャパンに勤務 その後、1976年にワシントン大学大学院にて博士号（国際政治・教育学）を取得。1977年、米国第33代大統領・トルーマン大統領図書館よりトルーマン学術奨学金（Harry S. Truman Scholarship）、ジーン&ポール・ハナ学術奨学金（Jean & Paul Hanna Endowment Scholarship）を得て、1977年から1985年までスタンフォード大学フーヴァー研究所博士研究員
1985年以降、NHKラジオ「NHKジャーナル」シアトル通信員、麗澤大学国際経済学部教授、日本大学大学院総合科学研究科教授、日本大学国際関係学部教授等を歴任
現在（2016年12月現在）は、日本人として唯一のフーヴァー研究所研究員である他、モラロジー研究所特任教授、滋慶学園教育顧問等を務める 2016年3月、スタンフォード大学フーヴァー研究所初となる日本人による冠講座「日本近現代歴史基金」の初代フェローに就任

6月

講師：サラヤ株式会社 代表取締役社長
更家悠介氏

テーマ：検討中



【経歴】

1951年生まれ。1974年大阪大学工学部卒業。1975年カリフォルニア大学バークレー校修士課程修了。1976年サラヤ株式会社入社。工場長を経て1998年代表取締役社長に就任、現在に至る。日本青年会議所会頭、（財）地球市民財団理事長などを歴任。（特活）エコデザインネットワーク副理事長、（特活）ゼリ・ジャパン理事長、大阪商工会議所常議員、関西経済同友会常任幹事、（公社）日本食品衛生協会理事、ボルネオ保全トラスト理事、（公社）日本WHO協会副理事長、在大阪ウガンダ共和国名誉領事などを務める。2010年 藍綬褒賞、2014年 渋沢栄一賞受賞。

【著書】

『これからのビジネスは「きれいごと」の実践でうまくいく』（東洋経済新報社 平成28年9月発行）
モットーは、あらゆる差別や偏見を超えて、環境や生物多様性など地球的価値を共有できる
「地球市民の時代」

7月

講師：大阪観光局理事長（大阪観光局長）
溝畑 宏氏

テーマ：これからの関西



【経歴】

1960年京都府生。1985年東京大学法学部卒業、自治省入省。2002年大分県企画文化部長。2004年（株）大分フットボールクラブ代表取締役。2008年Jリーグナビスコ杯優勝。2010年国土交通省観光庁長官。2012年内閣官房参与、大阪府特別顧問、京都府参与。2015年大阪観光局理事長（大阪観光局長）。大阪府市都市魅力戦略推進会議 委員。2017年大阪府・大阪市IR推進会議 座長。大阪・関西スポーツツーリズム&MICE推進協議会 会長。

【受賞歴】

2002年9月 2002年ワールドカップ日韓開催功労賞（韓国サッカー協会より）
2010年11月 ベストドレッサー賞
2012年1月 経済界大賞
2021年2月 WEIBO ACCOUNT FESTIVAL IN TOKYO 2020ベスト観光都市賞

【主な出演歴】

フジテレビ「報道2001」、「バイキング」
日本テレビ「真相報道バンキシャ」、「news zero」
テレビ朝日「モーニングバード」「ビートたけしのTVタックル」
TBS「あさチャン」「報道特集」
テレビ東京「カンブリア宮殿」、「ワールドビジネスサテライト」
NHK「日曜討論」、「クローズアップ現代」、「かんさい熱視線」
読売テレビ「ウェークアッププラス」、「ミヤネ屋」、「そこまで言って委員会」、「特盛よしもと」

「溝畑流・日本列島観光論 逆転こそNippon!」（講談社）
「爆走社長の天国と地獄 大分トリニータ V.S.溝畑 宏」
木村元彦著(小学館新書)

9月



非公開（受講生のみ公開）

10月

講師：大阪大学大学院 医学系研究科
心臓血管外科教授
澤 芳樹氏

テーマ：医療の未来～ withコロナ／afterコロナ



【経歴】1980年大阪大学医学部卒業、第一外科入局。
1989年～1991年ドイツMax-Planck研究所心臓生理学部門、心臓外科部門に留学。帰国後大阪大学医学部第一外科講師、助教授、2006年～大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科主任教授、現在に至る。大阪大学医学部附属病院未来医療センター長、大阪大学臨床医工学融合研究教育センター長、附属病院副病院長、未来医療開発部長、ハートセンター長、国際医療センター長、医学系研究科研究科長・医学部長なども歴任。日本再生医療学会 理事長、日本胸部外科学会 理事長、国際臨床医学会 代表理事、日本外科学会 理事、日本循環器学会 理事、日本心臓血管外科学会 評議員なども兼任中。2020年紫綬褒章受章

12月

講師：関西文化経済研究所 代表
西日本電信電話株式会社
元代表取締役社長
大竹 伸一氏

テーマ：意思を持つ情報



【学歴】
京都大学工学部 卒業

【職歴】
1971年、日本電信電話公社 入社、2004年常務取締役 ソリューション営業本部長
2007年代表取締役副社長 戦略プロジェクト 推進本部長に就任、2008年 代表取締役社長に就任、2012年 取締役相談役 相談役 2018年7月から現職

そのほかの公職としては、株式会社大阪国際会議場 取締役、国立大学法人大阪大学 経営協議会委員、社団法人関西経済同友会 代表幹事、全国経済同友会 震災復興部会 共同部会長、国立大学法人京都大学 経営協議会委員を歴任後、株式会社大林組 取締役、一般財団法人 電気通信協会 理事・西日本支部長、公益社団法人関西経済連合会 副会長を歴任している

1月

講師：パナソニック株式会社
専務執行役員 宮部 義幸氏

テーマ：日本のイノベーション創出に向けた課題



【学歴】 1983年3月 大阪大学大学院 工学研究科 修了

【職歴】

1983年4月 松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）へ入社
1995年10月 同社 マルチメディア開発センター 情報システムグループ リーダー

2001年4月 eネット事業本部 eネット戦略企画室 グループマネージャー

2003年1月 R & D企画室 室長、同年9月 コーポレートR & D戦略室 室長（兼）産学連携推進センター所長、

2008年4月 役員 デジタルネットワーク・ソフトウェア技術担当、
2011年4月 常務役員 技術担当、2011年6月 常務取締役 技術担当

2013年4月 常務取締役 A V Cネットワークス社 社長

2014年4月 代表取締役専務 A V Cネットワークス社 社長

2015年4月 代表取締役専務 技術担当、知的財産担当、
モノづくり総括担当、調達担当

2016年4月 代表取締役専務 技術・モノづくり・調達・I T革新担当

2017年4月 代表取締役専務 技術・モノづくり・調達・I T革新総括担当、兼
ビジネスイノベーション本部長

2017年4月 専務執行役員（兼）ビジネスイノベーション本部長

2018年4月 専務執行役員 就任

2月

講師：エルドリッチ研究所

ロバート・D・エルドリッチ氏

テーマ：国際社会の中の日本 日本の国際社会

【出身地】 アメリカ合衆国（ニュージャージー州）

【学歴】 1993年3月 神戸大学大学院法学研究科後期課程 修了

【職歴】

1999年4月 サントリー文化財団 鳥居フェロー

2001年7月 大阪大学大学院国際公共政策研究科 准教授

2009年10月 在沖米海兵隊太平洋基地政務外交部 次長

2015年4月 エルドリッチ研究所 創立 代表

2016年4月（兼）グローバル・リスク・ミティゲーション財団 理事

（北東担当）2016年10月（兼）日本戦略研究フォーラム 上席研究員



主な和文著書（一部）

- 『地方創生と日本の再生』、2020年（予定）
- 『大学改革と地域の連携』（2020年（予定）
- 『人口減少と自衛隊』、2019年
- 『トモダチ作戦』（単著）集英社、2017年
- 『次の大震災に備えるために』、2016年
- 『だれが沖縄を殺すのか』2016年
- 『オキナワ論』（新潮新書、2016年
- 『尖閣問題の起源』2015年他多数



講演

講演テーマ：
環境のソリューションパートナーを目指して

【学歴】

大阪大学 経済学部卒

【職歴】

昭和41年	4月	日立造船株式会社入社
平成17年	4月	代表取締役 取締役社長
" 22年	6月	代表取締役 取締役会長兼社長
" 25年	4月	代表取締役 取締役会長兼CEO
" 28年	4月	代表取締役 取締役会長
" 29年	4月	取締役相談役
" 29年	6月	相談役
		現在に至る



日立造船株式会社
相談役 古川実氏

受講者の声



人間は過去の経験・文化・置かれている状況・環境などに基づいて無意識に情報の条件付けや限定化を行うこと（ヒューリスティック）の結果、バイアスがかかることに十分留意する。その上で、組織を構成する際の多様性の確保、集団内の反対・少数意見の尊重、外部グループとの積極的な交流等を通して、意思決定における客観性・合理性を担保するよう心掛けたい。

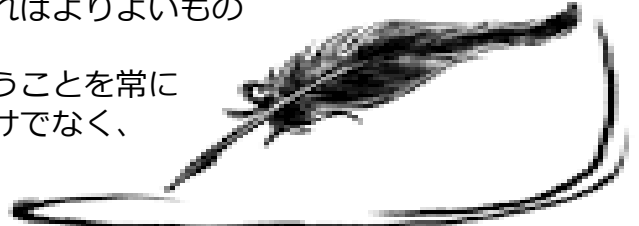


私たちはあえて「自分の脳を裏切る」ような思考を積み重ねていかないと新しいイノベーションは生み出せないのではないかと思います。

どの講師も考え方として同じだったのは、「社会起点に立って行動しなければならない」ということでした。これからは、ものごとに着手する際は「世の中の役に立つからやる」という考え方に則しているか、自己起点となっていないかについてよく考えたうえで行動に移していきます。

すべての講師が、仕事を進めていくうえで重要となるのは「パートナー」であると言われていました。ある講師は「仕事を幅広く成果につなげていくためには、人脈の構築が重要」や「仕事はパートナーと共に進めること」といったコメントが何度もありました。このことから仕事を成果につなげていくためには、メンバーと共に行動だけでなく、幅広い人脈を駆使しなければよりよいものにならないということを理解しました。

今後は、仕事は一人でするものではないということを常に念頭に置き、メンバーと共に切磋琢磨するだけでなく、人脈の構築にも力を注ぎます。



受講者の声



「既存の製品やソリューションを改良する漸進的イノベーション」から「新しく市場に対する破壊力を持った製品を投入する革新的イノベーション」。
Society5.0に向けて、上記のような人財を育成していく教育プロジェクトを立ち上げて取り組むことも必要である。

次のパラダイム、アフターコロナはどんな時代になるのか？未来を見通すことはできないが、1つ確実なのは、住職近接の時代が100年ぶりにやってくるということ。

今後は、郊外で暮らし、チャットやテレビ電話、会議システムなどを使い、郊外で働いたまに都心の本社に出勤するというようなライフスタイルが主流になるであろう。
加えて、高齢化により、人々の日常の移動距離は劇的に縮まる事が予想される。

それに伴ない、当然に商業施設の比重も、都心から郊外に軸足を移すだろう。梅田の商業の規模も一気に低下すると思われる。

コロナウイルス収束後の取り組みは予断を許さない状況ではあるが、コロナウイルス収束後は、KOKOROZASI SCHOOLで習得した知見と、人脈を活かし、関西経済の発展につながるプロジェクトを、今回の研修を受講した皆様と一緒に実現していきたいと考えている。



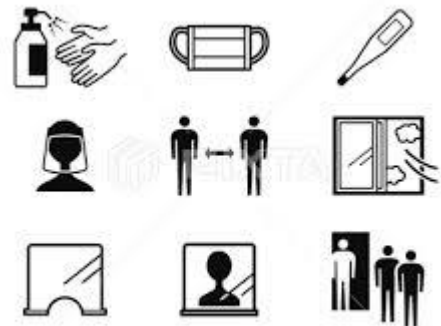
2020年度はハイブリッドで 開催致しました。



受講生の声

リアルでの研修参加を選択した。WEB出席の方とのコミュニケーションも不都合なく行われており、チャット機能を用いるなど新しい研修の形として良いと感じた。個人的には、研修会のナマの空気を味わいたいので、次回以降もリアルでの研修参加を希望いたします。

リアル会場にて参加させていただきましたが、リモートの方々のご意見も聞き取りやすく、よい研修であったと感じました。コロナ対応で難しい運営となっていられるかと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。



新型コロナウイルス対策として、リアルの研修現場では、アクリル板を前と横に設置した上、マイク消毒を徹底して実施し、リモートでの参加者にはプロカメラマンと音響スタッフが現場をつなぎ、一体感ある研修を実現致しました。

働く女性にとって必要な知識を得るために

Peach Women's Business School で開催している講座への



オブザーバ参加可能講座のご案内

11月 異文化コミュニケーション・交流会（仮）

14:00～17:00



Rosetta Stone Learning Center - Cross-Cultural Communication Coaching Edward Alexander Iftody



After graduating with a Political Science degree from the University of Alberta in 1995, Edward entered the mutual fund industry in Vancouver, Canada. In 1998, Edward co-founded the partnership, E W West Investments and later incorporated the same company under the name PureLogix Corp. in 2005. Both companies developed and marketed professional-grade financial analysis software for independent, Canadian financial advisors.

Edward moved permanently to Osaka in 2009 and has worked as an independent cross-cultural communication coach with a number of multinational companies, including AstraZeneca, SAP, Mitsubishi-Tanabe, and Pasona.

Edward is the author of *Surviving Work* - a leadership guide to understanding motivation strategies, image management and team building - and was recently selected as a Top Writer in Leadership on Medium.

1995年 アルベルタ大学で政治学専攻。卒業後 カナダのバンクーバー投資市場に参入。1998年 創設者の一人としてE.W Westインベストメント、またPureLogix社ビジネスを立ち上げる。両社でファイナンシャルアドバイザー向けの財務分析のソフトウェアを展開、販売。2009年大阪へ。異文化コミュニケーションのコーチとして、多くの企業への研修経験を持つ。アストラゼネカ、SAP、田辺三菱製薬、パソナなど。

Surviving Work（モチベーション戦略としてのリーダーシップガイド、イメージマネージメント、チームビルディング）の著者。リーダーシップガイドとしてのトップライターに選ばれる。

～募集概要～

場 所 : 大阪市北区中之島 ダイビル本館 4階 会議室
リモート参加の場合 : ビデオ通話アプリZOOMを使用
対 象 : 現課長職以上 将来、役員を目指す方 志が高い方
費 用 : 各企業につき1名 77万円 (税込み)

お問合せ・お申し込みは



〒530-6127

大阪市北区中之島3-3-23中之島ダイビル2 7F

TEL 06-6448-3666 (担当 : 青柳)

FAX 06-6448-3667

Mail kokorozasi@peach-corporation.co.jp

<https://www.peach-corporation.co.jp>